

と云えば、防災面を強化していただければうれしいです。

安心・安全なまちづくり

町長 地震や津波などの自然災害や、原子力発電所の放射能漏れなどの社会問題に町として敏感に反応しなければなりません。南海トラフ地震が起った際の津波の高さなど、いつ起こるかわからないものを想定し、山も川も海もある海田町独特の防災を考えなければなりません。

勝丸 山・川・海が近くにあることはとてもいいことですが、災害が起きた時は危険です。海田町に限らず広島県はいろんな災害に備えておかなければいけない地域です。これまで、大雨が降るとか、台風が何度も直撃する場所ではなかったかもしれませんが、実はいつ何が起きてもおかしありません。そういう心構えが大切だと思います。今またま何も起きていないだけで大変な事態になってもおかしくない場所なんだと、日ごろから気を付けていたいただきたいなと思います。何かが起きた時に自分はどう動くべきなのか、家族とどう連絡をとればいいのか、避難場所へどうやって向かえばいいのか、といったことを日ごろから考えるようにしてもらいたいです。普段何気なく使っている道が、災害時にはブロック塀が崩れたりして通れなくなっているかもしれません。そういったことを想像し、考えておくかどうか

かで、違ってくると思います。そういう機会を家族や近所で話し合ってもらいたいです。何かあった時に救助を待つだけでは助からないかもしれない。自分たちで自分の身を守るには、近所とのつながりや声掛け、そんなアナログな関係が大事になってきます。

自主防災組織があれば一番いいですが、そういう小さい輪の中で、危険個所を点検してみたりする機会が頻繁にあればいいなと思います。

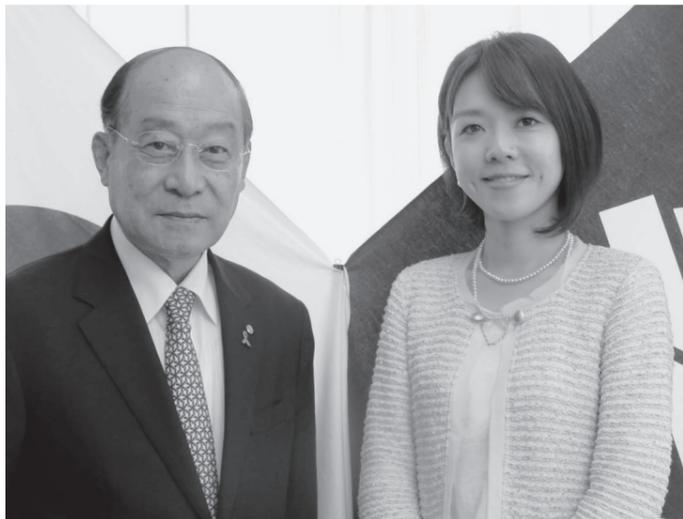
町長 大きい訓練は定期的に実施しています

勝丸 あまりに大きな組織になると他人事のように思えてしまいます。自

分で考えるきっかけがあればいいなと思います。

新年の抱負

町長 名誉町民でもある織田幹雄氏の偉業は、海田町のかげがえのない大きな財産となっています。6年後に



開催される東京オリンピックでは織田氏の偉業が改めて認識されるでしょう。これまで三段跳び・ホップ・ステップ・ジャンプ「夢・希望・勇気」をひとつのテーマにして、いろんな方法で皆さんにPRしてきました。夢・希望・勇気というのは子どもたちが一番ふさわしく、これからもまだまだPRしていきたいです。

全国的に過疎化などで人口が減っている中、おかげさまで海田町は人口が横ばい以上で推移しており、11月末の人口は28,864人で先月よりも増えています。近年、平地に

勝丸恭子さん

海田町稲荷町生まれ
海田小学校、海田西中学校、広島大学附属高校を経て横浜国立大学教育人間科学部へ入学。卒業後、報道記者や中継ディレクターを経験し、現在はNHK「お好みワイドひろしま」や「ひろしまニュース845」などで気象予報士として活躍している。

勝丸 気象災害に対する関心は、ますます高まっていくと思います。天気がニュースになる時代になっています。命を守る情報だということを感じ、しっかり伝えていきたいです。海田町出身の私が町民の皆さんに情報をお知らせする立場にありたいと思います。地元を出ていきたくて、より地元感を出していきたくて、役立ち、安心してもらえるような広島ならではの情報をお届けしたいと思っています。

二人 今日はどうもありがとうございます。

(表紙撮影場所：旧千葉家住宅)

まちの話題 12,000人が楽しんだ！ 福祉保健まつり

- ① 幼児発表会
- ② 総合司会は海田町出身の国光かよ子さん
- ③ お楽しみカープトークショー
- ④ トレーナー・鈴木卓也さんの体操教室
- ⑤ ペンギンとふれあおう
- ⑥ 8020表彰



福祉保健まつりは、天候にも恵まれ、盛況のうちに無事に終了することができました。ご来場、ご協力いただいた皆さんに厚く御礼を申し上げます。

ワッショイ！かいた、スマイルフェスタ in かいた実行委員会一同